

令和3年度

事 業 計 画

公益財団法人日本ボーアイスカウト栃木県連盟

令和3(2021)年度 事業計画

1 基本方針

公益財団法人日本ボーイスカウト栃木県連盟は、公益財団法人としての県民の付託に応えるとともに、スカウト運動の価値をより高め、県内における青少年教育の中核となって青少年を育成し、より良き社会人を輩出するためにその使命を果たします。

そして、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の2021年度スローガン「活動的で自立したスカウトを育てよう！！～日本連盟創立100周年を目指して～」と連携し、県連盟中期経営計画「スカウトとちぎ G0 G0 プラン」の基本理念である「コアコンピタンス（主要能力）を発揮して、『スカウトとちぎ』を推進しよう！」の実現に向けて、今年度を初年度とした3年間を見通した事業を推進します。

〈参考〉 2021年度日本連盟事業計画

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から沈滞部分の回復と、スカウト運動の社会への貢献を念頭に事業を進めます。また、これまで取り組んでいる長中期計画、財政再建及び組織改革に関する基本方針等の施策の総括を行うとともに、その成果を踏まえて創立100周年からの新長中期（戦略）計画の策定を行います。さらに、富士特別野営2021等各種行事を実施するとともに、創立100周年を目指した様々な準備を進めます。そして、日本のスカウト活動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、2021年度は次の成果を目標とします。

«2021年度 成果目標»

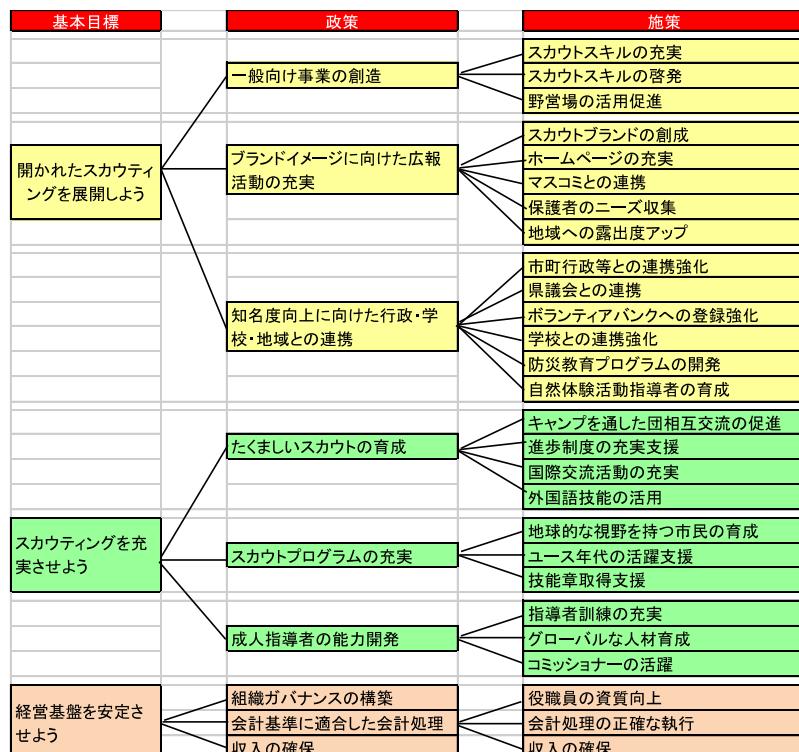
1 仲間の増強化

- ① 野外活動の優位性をアピールし、積極的に子どもの親への理解者を広げる。
- ② 親の望む子どもの育成に寄与し、お友達づくりを進める。

2 活動の活性化（中途退団抑止）

- ③ 仲間を尊重し、将来にわたり共に歩む人間関係を育成する。
- ④ 全国各地でスカウト運動活性化戦略セミナー等の開催と団への支援を行う。
- ⑤ ローバースカウトの活動を支援する。

2 基本目標の実現に向けた施策体系



事業の予算化に当っては、事務事業マネジメントシートを作成して事業実績に基づいた評価を実施している。この作業を通して、目標を再設定するもの、やり方の改善による成果向上を図るもの、事業の統廃合や連携を行うもの、廃止・休止を行うもの等の検討を行い、2～3年後の在り方を精査（ローリング方式）しています。

(公財)ボイスカウト栃木県連盟 評価対象年度 平成 29 年度		事務事業マネジメントシート		作成日 平成 29 年 10 月 7 日	担当委員会名 組織広報委員会				
事務事業名		防災キャラバンによる広報							
施策 体系	基本目標	1	開かれたスカウティングを展開しよう	事業 区分	事業開始年度 平成27年度				
	政策	2	ブランドイメージに向けた広報活動の充実		新規・継続				
	施 策	1	スカウトブランドの創成		実施方法	県連盟単独			
	基本事業	1	スカウトブランド創成事業		リーディングプロジェクト	防災キャラバン運営			
1 事務事業の現状把握 [Do]									
(1) 事務事業の手段・目的・結果・指標									
手段	① 手 段 (この事務事業の主な活動内容)		平成 29 年度実績 (実施した主な活動内容)						
	事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)		全国防災キャラバンを開催						
	平成27年度からイオンモールと提携し全国防災キャラバンを実施してきた。平成30年度からはスカウトブランド創成の視点から事業化し、県連盟事業として予算化する。		活動指標	単位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (見込)	31 年度 (見込)	32 年度 (見込)
			防災キャラバンの実施	回	1	1	1	1	1
目的	② 対 象 (この事務事業は、何を対象としているか?)		対象指標	単位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (見込)	31 年度 (見込)	32 年度 (見込)
	一般（加盟員）		防災キャラバン来場者数	人		225	250	275	300
結果	③ 意 図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいか?)		成果指標	単位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (見込)	31 年度 (見込)	32 年度 (見込)
	スカウト技能の体験により、認知度を向上させる。		スタッフ数	人		36	30	30	30
(4) 結 果 (この事務事業は、どのような結果に結び付けるか?)									
事業 費 の 内 訳 (円)	加盟員の増加		上位成果指標	単位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (見込)	31 年度 (見込)	32 年度 (見込)
			入団問い合わせ数	組		8	10	12	14
(2) 事業費の推移・内訳									
事業 費 の 内 訳 (円)	28 年度 (予算)		29 年度 (予算)	30 年度 (予算)		31 年度 (目標)		32 年度 (目標)	
	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
					会議費	(10,000)	会議費	(5,000)	
							消耗品（記念品）	(10,000)	
								消耗品（記念品）	(15,000)
		合計	0	合計	0	合計	(10,000)	合計	(15,000)
								合計 (20,000)	
(3) 事務事業の環境変化、意見等									
① この事務事業を開始したきっかけ			② この事務事業を取り巻く変化			③ この事務事業に関する意見や要望			
日本連盟が第23回世界スカウトジャンボリーを日本で開催するに当たり、その啓発として平成27年にイオンモールを会場に全国キャラバンを開催した。			全国キャラバンの成功をきっかけに、スカウト技能を活かした防災プログラム体験の場として、民間企業と連携した広報活動を継続していった。			スカウト技能を活用した防災プログラムを事業化することにより、広く一般社会にスカウティングの認知度を高め、スカウトブランドを創生していく絶好の機会として今後も充実させていきたい。			
2 事務事業の評価 [Check] と今後の方向性 [Action]									
(1) 今後の事業の方向性 (複数選択可)				2～3年後を目指した方向性					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化							
(2) 改革・改善案		いつまでに、何を、どうするか							
開発した防災プログラムを隊活動に取り入れていただくため、指導者養成委員会と連携し、トレーニングチームを活用して事例集の発行につなげていきたい。									
(3) 改革・改善による期待成果									
成 果	コスト (事業費)								
			削減	維持	増加				
	向上				○				
	維持								
低下									
(4) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策									
スカウトプログラムとしての発展の可能性は十分にあるが、会場となるイオンモールが固定化されているため、ローバースカウトやベンチャースカウトの奉仕の場として地区に偏りがでているとともに、入団の問い合わせも同様の傾向がある。									

基本目標	政策	施策	リーディング プロジェクト との関連 (重点事業)	担当部局
開かれたスカウティングを展開しよう	一般向け事業の創造	スカウトスキルの充実		指導者養成
		スカウトスキルの啓発	ブランドイメージ向上	指導者養成
		野営場の活用促進		国際環境
	ブランドイメージに向けた広報活動の充実	スカウトブランドの創成	ブランドイメージ向上	組織広報
		ホームページの充実		組織広報
		マスコミとの連携		組織広報
		保護者のニーズ収集		コミG
		地域への露出度アップ		組織広報
				組織広報
			公益事業創成	組織広報
				組織広報
			ブランドイメージ向上	組織広報
	知名度向上に向けた行政・学校・地域との連携	学校との連携強化	ブランドイメージ向上	プログラム
		防災教育プログラムの開発		指導者養成
		自然体験活動指導者の育成		指導者養成
				組織広報
				国際環境
スカウティングを充実させよう	たくましいスカウトの育成	キャンプを通した団相互交流の促進		国際環境
		進歩制度の充実支援		プログラム
		国際交流活動の充実		国際環境
		外国語技能の活用		国際環境
	スカウトプログラムの充実	地球的な視野を持つ市民の育成		プログラム
				国際環境
				プログラム
		ユース年代の活躍支援		プログラム
	成人指導者の能力開発	技能章取得支援		プログラム
				プログラム
				組織広報
				指導者養成
			ブランドイメージ向上	指導者養成
				指導者養成
経営基盤を安定させよう	組織ガバナンスの構築	指導者訓練の充実		国際環境
				財務財政
				財務財政
				コミG
				特別委員会
				特別委員会
			ブランドイメージ向上	特別委員会
				特別委員会
				特別委員会
				特別委員会
会計基準に適合した会計処理	役職員の資質向上	会計処理の正確な執行		財務財政
				収益構造改善
				財務財政
				財務財政
収入の確保	収入の確保			

R02	R03	R04	個別事業との関連	施策No.	単年度No.	R03(2021) 単年度事業	R03(2021) 期待成果 コスト・成果	R03 (2021) 区分
→	→	→	公1①	1	11111	県定型外訓練①(スキルトレーニング)	維持維持	継
→	→	→	公1②	1	11211	スカウトスキル出前講座	維持維持	継
→	→	→	公1④	1	11311	野営場の貸与及び管理	維持維持	継
→	→	→	公1③	1	12111	防災キャラバンによる広報	増加向上	充
→	→	→	公1③	1	12211	ホームページの運営	維持維持	継
○	○	→	公1③	1	12221	広報誌「男体」ホームページ版の運営	削減維持	継
→	→	→	公1③	1	12311	取材記事の収集保存	維持維持	継
→	／	→	公1③	1	12411	新入隊員保護者アンケート	削減低下	隔年
○	→	→	公1③	1	12511	広報用パンフレット等作成	維持向上	充
→	→	→	公1③	1	13111	地区組織拡張支援	維持向上	充
→	→	→	公1③	1	13121	広報グッズの作成	増加向上	充
→	→	→	公1②	1	13131	ボーイスカウト栃木県大会	維持維持	継
○	○	→	公1③	1	13141	県社会教育振興協議会等行政との連携	維持維持	継
→	→	→	公1②	1	13411	スカウト顕彰＆情報提供	維持維持	継
→	→	→	公1③	1	13511	防災プログラム事例集の研究	削減維持	継
○	○	○	公1③	1	13611	自然体験活動指導者(CONE)の派遣	維持維持	継
→	→	→	公1③	1	21111	キャンプ場PR誌作成	維持維持	継
→	→	→	公1②	1	21211	地区スカウト大会(ラリー等)開催支援	維持維持	継
→	→	✗	公1①	1	21311	国際活動研究	削減維持	継
→	→	→	公1①	1	21321	海外派遣の奨励	維持維持	継
→	→	→	公1③	1	21411	国際交流している他団体との連携	増加向上	充
→	→	→	公1②	1	22111	環境プロジェクト活動の推進	維持向上	充
→	／	→	公1②	2	22112	足尾の山に緑を(植樹)	維持維持	継
→	→	→	公1②	1	22211	カブラー	維持維持	継
→	→	→	公1②	1	22221	県ベンチャースカウト大会	維持維持	継
→	／	→	公1②	1	22231	県ベンチャーフォーラム	削減低下	隔年
→	／	→	公1②	2	22242	全国ベンチャーフォーラム派遣	削減低下	隔年
→	→	→	公1②	1	22251	ローバーズネットワーク推進	増加向上	充
○	○	／	公1②	1	22261	第19回栃木県キャンボリー	維持維持	継
○	○	→	公1③	1	22311	技能章考查員・指導員の拡充	維持向上	充
○	→	→	公1②	1	22321	ボーイスカウト救急法講習会	維持維持	継
→	→	→	公1①	1	23111	団・隊指導者研修会	維持維持	継
→	→	→	公1①	2	23112	県定型外訓練②(県)	維持維持	継
→	→	→	公1①	3	23113	県定型外訓練③(自主サークル育成)	維持維持	継
→	→	→	公1①	4	23114	地区定型外訓練開催支援	維持維持	継
→	→	→	公1①	1	23121	ボーイスカウト講習会	維持維持	継
→	→	→	公1①	2	23122	ウッドバッジ研修所	維持維持	継
→	→	→	公1①	3	23133	研修所への講師派遣	維持維持	継
→	→	→	公1①	4	23134	実修所への講師派遣	維持維持	継
→	→	→	公1①	1	23141	トレーニングチーム研究集会	維持維持	継
→	→	→	公1①	2	23142	トレーナー研究集会派遣	維持維持	継
○	→	→	公1①	1	23151	セーフ・フロム・ホーム研修	維持維持	継
○	○	→	公1①	1	23161	団アンケート結果分析による活動提案と支援	維持維持	継
→	→	→	公1①	1	23311	コミッショナー研究集会	維持向上	充
→	→	→	公1①	2	23312	スカウティング研究資料の作成	維持維持	継
→	→	→	公1①	3	23313	コミッショナー研修所への参加奨励	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	1	31111	組織広報委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	2	31112	指導者養成委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	3	31113	プログラム委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	4	31114	国際環境委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	5	31115	財務財政委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑥	1	31121	公益法人セミナーへの派遣	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	1	31131	県連盟コミッショナーワーク	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	1	31141	規程検討特別委員会議	維持維持	継
→	→	→	公1⑤	2	31142	中期経営計画特別委員会議	維持維持	継
○	→	→	公1⑤	3	31143	県連盟75周年記念事業特別委員会議	維持向上	充
○	○	→	公1⑤	4	31144	クラウド等を活用した文書管理推進特別委員会議	維持向上	充
○	○	○	公1⑤	5	31145	災害復興支援特別委員会	維持維持	継
○	○	○	公1⑤	5	31145	ワクワク自然体験あそび推進特別委員会	増加向上	新
○	○	→	公1⑥	1	32111	法人会計処理事務の充実	維持維持	継
→	→	→	公1⑥	1	33111	寄附金募集	0	充
→	→	→	公1⑥	1	33121	収益構造の改善	維持維持	継

注 ◎は新規、○は2年目3年目、→は継続、／は、隔年実施

(1) 基本目標別事業数

基本目標	新規	継続	充実	合計
スカウティングを充実させよう	0	23	5	28
開かれたスカウティングを展開しよう	0	11	4	15
経営基盤を安定させよう	1	12	3	16
総計	1	46	12	59

基本目標1 開かれたスカウティングを展開しよう

政策	施策	担当部局	R03(2021) 単年度事業	R03(2021) 主な内容	R03(2021) 期待成果 コスト・成果
一般向け事業の創造	スカウトスキルの充実	指導者養成	県定型外訓練①(スキルトレーニング)	指導者養成委員会が主催する県定型外訓練として、救急法等のスカウトスキルに関する研究会を開催します。	維持維持
	スカウトスキルの啓発	指導者養成	スカウトスキル出前講座	公民館等の行政や学校からの要請に応じて、トレーニングチームや地区・加盟団との連携を密にしながら、スカウトスキルを活用した講座の講師派遣を行います。	維持維持
	野営場の活用促進	国際環境	野営場の貸与及び管理	栃木県連盟が保有する野営場(烏山C.C.C.)の保守管理並びに草刈り作業(年間6回)を実施します。	維持維持
ブランドイメージに向けた広報活動の充実	スカウトブランドの創成	組織広報	防災キャラバンによる広報	ボースカウトの活動とイメージ向上のために、災害時に役に立つ様々なグッズを紹介すると共に、コロナ対策を含めた模擬展示を進めます。	増加向上
	ホームページの充実	組織広報	ホームページの運営	地区や団から積極的に情報を提供できる体制を構築して、見やすく、親しみやすいホームページ運営を行います。	維持維持
		組織広報	広報誌「男体」ホームページ版の運営	ホームページ版機関紙「男体」のPRに努めます。	削減維持
	マスコミとの連携	組織広報	取材記事の収集保存	県連75周年実行委員会とタイアップして記事の収集と保存に努めています。	維持維持
	保護者のニーズ収集	コMiG	新入隊員保護者アンケート	新たに加盟したスカウト保護者の要望や感想・ニーズを収集・分析し、コミッショナーとしての活動や県連盟の施策、各団の活動に提案していきます。	削減低下
	地域への露出度アップ	組織広報	広報用パンフレット等作成	ビーバースカウトから指導者まで、親しみやすい活動内容を載せて、スカウト活動の認知度向上が期待できるパンフレットの見直しを検討していきます。	維持向上
知名度向上に向けた行政・学校・地域との連携	市町行政等との連携強化	組織広報	地区組織拡張支援	地区主催の事業に対して、消耗品等の経費支援はもとより、組織拡張の情報共有を図っています。	維持向上
		組織広報	広報グッズの作成	県キャンポリーや県カブラーなどに向けて、広報グッズを作成して、スカウト活動のPRを高めて財政にも寄与してまいります。	増加向上
		組織広報	ボースカウト栃木県大会	スカウト関係者以外にも活動を知っていたき、参加できるように、今迄の栃木県大会の開催方法等、他県含め調査・研究していきます。	維持維持
		組織広報	県社会教育振興協議会等行政との連携	県社会教育振興協議会やとちぎ教育の日研修会等への理事の参加促進を行い、関係する旅費を支出します。	維持維持
	学校との連携強化	プログラム	スカウト顕彰＆情報提供	各種大会への派遣や富士章等に進級したスカウトを学校に発信するとともに、隼章・富士章を取得したスカウトを県大会において顕彰します。	維持維持
	防災教育プログラムの開発	指導者養成	防災プログラム事例集の研究	災害時に使える「応急タンカ、古新聞のスリッパ、簡易応急処置法」の研究成果をもとに、学校教育等でも活用できる実践事例集を見直します。	削減維持
	自然体験活動指導者の育成	指導者養成	自然体験活動指導者(CONE)の派遣	要請に応じ、地域での自然体験活動に対して企画・実施への支援を行うとともに、講師派遣を行います。	維持維持

基本目標2 スカウティングを充実させよう

たくましいスカウトの育成	キャンプを通した団相互交流の促進	国際環境	キャンプ場PR誌作成	栃木県連盟野営場(烏山C.C.C)を利用促進するための分かりやすいパンフレットを作成します。	維持維持
	進歩制度の充実支援	プログラム	地区スカウト大会(ラリー等) 開催支援	地区毎に行われるスカウト大会(ラリー)等の開催支援として1地区10,000円を限度に消耗品等の経費を支援します。	維持維持
	国際交流活動の充実	国際環境	国際活動研究	アジア学院収穫祭参加は中止とします。オリパラ教育等の国際交流活動の研究を行い、参加奨励を行います。	削減維持
		国際環境	海外派遣の奨励	日本連盟で行っている各種海外派遣(ワールドジャンボリーなど)の情報を発信し、参加促進を図ります。	維持維持
	外国語技能の活用	国際環境	国際交流している他団体との連携	国際交流協会やJICA等のNGOとの連携を行い、国際交流に役立てるとともに、外国語会話バッジ取得を推進します。	増加向上
スカウトプログラムの充実	地球的な視野を持つ市民の育成	プログラム	環境プロジェクト活動の推進	環境保護に対して、スカウトが実践できる機会を確保し、世界環境保護バッジ取得支援を行います。	維持向上
		国際環境	足尾の山に緑を(植樹)	「足尾に緑を育てる会」の植樹に参加することにより、環境教育活動の具体的推進を図ります。	維持維持
	ユース年代の活躍支援	プログラム	カブラリー	ビーバー・カブ年代が一同に会し、ルールに従って楽しくゲームするカブラリーを県または地区を主管に開催します。	維持維持
		プログラム	県ベンチャースカウト大会	県内のベンチャースカウトが、多くの技能章を取得し、隼スカウト章を取得できるように活動機会を確保します。	維持維持
		プログラム	県ベンチャーフォーラム	全国ベンチャーフォーラムのテーマを基に、各地区でフォーラムを開催し、結果を県に持ち帰り、県ベンチャーフォーラムで意見の集約を行います。	削減低下
		プログラム	全国ベンチャーフォーラム派遣	隔年で県ベンチャーフォーラムの参加者の中から代表者を選び、県内のスカウトの意見を集約して全国で発表します。	削減低下
		プログラム	ローバーズネットワーク推進	ローバー年代が、県内において活動できる条件を整備し、白鷗大学ローバーとの連携を密にして、他団相互のネットワークを推進します。	増加向上
		プログラム	第19回栃木県キャンポリー	県連盟主催により、4年を周期に県内のスカウト・指導者が一堂に会し、キャンプ生活を通してスカウト仲間としての心のふれあいと共通体験の中から、社会に貢献する青少年の育成を目的とします。	維持維持
	技能章取得支援	プログラム	技能章考査員・指導員の拡充	スカウトが技能章を取得しやすい環境を整備するために、地域人材の活用を行い、考査員(県)や指導員(地区)拡充を行います。	維持向上
		プログラム	ボーイスカウト救急法講習会	技能章「救急章」の取得支援を行うため、県連盟が主催する「ボーイスカウト救急章講習会」を開催します。	維持維持
成人指導者の能力開発	指導者訓練の充実	組織広報	団・隊指導者研修会	団・隊指導者研修会を年1回以上開催し、新規指導者に対しても資質向上を目指します。	維持維持
		指導者養成	県定型外訓練②(県)	指導者に必要とする各種研修機会をトレーナー研究集会にはかり、計画・実施します。	維持維持
		指導者養成	県定型外訓練③(自主サークル育成)	自主的に研修を企画・実施するサークルに対し、1サークル5,000円を限度に活動支援を行います。	維持維持
		指導者養成	地区定型外訓練開催支援	地区で開催する定型外訓練に対し、10,000円を限度に活動支援を行い、活性化を行います。	維持維持
		指導者養成	ボーイスカウト講習会	県と地区との協働によって開催するボーイスカウト講習会を年間4回地区ごとに開催します。	維持維持
		指導者養成	ウッドバッジ研修所	日本連盟の指導者訓練の基礎である全部門共通のスカウトコースを1回、課程別編を2回開設します。	維持維持
		指導者養成	研修所への講師派遣	関東ブロックが開催する団委員研修所・コミッショナー研修所に対し、本県連盟から講師を派遣します。	維持維持
		指導者養成	実修所への講師派遣	関東ブロックからの要請に応じて、他県連盟担当のコースに講師を派遣します。	維持維持
		指導者養成	トレーニングチーム研究集会	県連盟トレーニングチームの研修機会として、実施時期や日程を見直しながら、研究集会を年2回開催します。	維持維持
	コミッショナーの活躍	指導者養成	トレーナー研究集会派遣	日本連盟が毎年主催するトレーナー研究集会にトレーナー全員を派遣します。	維持維持
		コミG	セーフ・フロム・ハーム研修	指導者を対象にSFHセミナー「実践編」を開設し、本運動における「思いやりを育む教育」を具体的に理解し、活動の質を向上させていきます。	維持維持
		コミG	団アンケート結果分析による活動提案と支援	全団調査2020や登録審査の結果を踏まえ、コミッショナー部門の活動テーマとして、各団の活発な活動を提案し支援していきます。	維持維持
		コミG	コミッショナー研究集会	各種アンケート結果や規程類の変更、社会環境の変化や情勢にあつたテーマを抽出し、定期的に研究会を実施します。	維持向上
	コミッショナーの活躍	コミG	スカウティング研究資料の作成	規程改正や新規の情報・ニーズにより、トレーニングチームと合同で研究テーマを選定し、必要により資料等の発行や意見交換会を実施します。	維持維持
		コミG	コミッショナー研修所への参加奨励	コミッショナー研修制度の変更に伴い、新任や現職のコミッショナー研修未履修者を中心に参加要請を行い、コミッショナーグループの質の向上に結び付けます。	維持維持

基本目標3 経営基盤を安定させよう

組織ガバナンスの構築	役職員の資質向上	組織広報	組織広報委員会議	定期的に組織広報に関する委員会を開催します。	維持維持
		指導者養成	指導者養成委員会議	定期的に指導者養成に関わる委員会を開催するとともに、地区間バランスをなくしていきます。	維持維持
		プログラム	プログラム委員会議	プログラムに関する委員会を定期的に開催します。	維持維持
		国際環境	国際環境委員会議	国際環境に関わる委員会を定期的に開催します。	維持維持
		財務財政	財務財政委員会議	財務財政に関する委員会を定期開催します。	維持維持
		財務財政	公益法人セミナーへの派遣	公益法人協会が開催するセミナーへの旅費を支出します。	維持維持
		コミG	県連盟コミッショナー会議	県連盟コミッショナー会議を定期的に開催し、課題の討議や情報の共有化をしていきます。	維持維持
		特別委員会	規程検討特別委員会議	定款や規程について、理事会へ提出する原案を討議します。	維持維持
		特別委員会	中期経営計画特別委員会議	3年後を見通したローリング方式による事務事業マネジメントシートによる評価を行い、次年度の事業計画を検討します。	維持維持
		特別委員会	県連盟75周年記念事業特別委員会議	県連盟が昭和24年に創立し、2023年に75周年を迎えることから、記念誌作成及び記念式典開催のための準備を進めます。	維持向上
		特別委員会	クラウド等を活用した文書管理推進特別委員会議	クラウド等活用チームの研究成果をもとに、理事会・特別委員会等において、GSuite・Slack等を活用した文書管理システムの稼働を推進します。	維持向上
		特別委員会	災害復興支援特別委員会	災害発生時に速やかに復興対策を検討する機関として特別委員会を組織します。	維持維持
		特別委員会	ワクワク自然体験あそび推進特別委員会	各団が行っている体験入隊の機会をワクワク自然体験あそび事業に位置付け、組織拡大と知名度アップにつなげます。	増加向上
会計基準に適合した会計処理	会計処理の正確な執行	財務財政	法人会計処理事務の充実	法人会計や文書決裁システムの検討を行い、公益法人にふさわしい事務執行を行います。	維持維持
収入の確保	収入の確保	財務財政	寄附金募集	企業・団体・一般個人に対する寄附金募集実施体制の構築・整備を進めます。	維持向上
		財務財政	収益構造の改善	安定した財源の確保を図るため、県連盟登録料の改定(令和4年度)を検討します。	維持維持

(2) 担当部局別事業数

担当部局	新規	継続	充実	合計
組織広報	0	7	4	11
指導者養成	0	14	0	14
プログラム	0	7	3	10
国際環境	0	6	1	7
財務財政	0	4	1	5
コミG	0	5	1	6
特別委員会	1	3	2	6
総計	1	46	12	59

(3) リーディングプロジェクト別事業数

リーディングプロジェクトとの関連	新規	継続	充実	合計
ブランドイメージ向上	0	5	2	7
公益事業創成	0	0	1	1
収益構造改善	0	0	1	1
総計	0	5	4	9

リーディングプロジェクトとは、基本構想の実現に向けて基本計画全体をリーディングする（先頭に立って導く）誘導的なプロジェクト事業のことです。優先的かつ重点的に関係主体が連携して取り組む必要がある課題を抽出し、これらの課題を解決するため各分野における施策を横断的に関連付けます。

重要課題であるだけに新規事業が多く、上記の推進体制で全理事事が分担・関与していきます。

3 個別事業の内容

(1) 公益目的事業

公1 ボーイスカウト運動を通じて、次世代を担う青少年の健全育成事業の計画

① ボーイスカウト運動の指導者養成に関する研修、講習会開催

No.	担当部局	R03(2021)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	団・隊指導者研修会	継	団指導者（団委員長、団委員） 隊指導者（隊長、副長等）	年1回、1泊2日
2	指導者養成	県定型外訓練①（スキルトレーニング）	継	18歳以上の加盟員	年間2回、日帰り
3	指導者養成	県定型外訓練②（県）	継	18歳以上の加盟員	年間2～3回
4	指導者養成	県定型外訓練③（自主サークル育成）	継	18歳以上の加盟員	5,000円以内×4サークル
5	指導者養成	地区定型外訓練開催支援	継	18歳以上の加盟員	10,000円以内×4地区
6	指導者養成	ボーイスカウト講習会	継	18歳以上の県民	年間4回
7	指導者養成	ウッドバッジ研修所	継	19歳以上の加盟員でボーイスカウト講習会修了者	年間1回、3泊4日 年間2回、日帰り
8	指導者養成	研修所への講師派遣	継	トレーニングチーム員	団研、コミ研
9	指導者養成	実修所への講師派遣	継	リーダートレーナー、副リーダートレーナー	年間1回
10	指導者養成	トレーニングチーム研究集会	継	トレーニングチーム員	年間2回
11	指導者養成	トレーナー研究集会派遣	継	リーダートレーナー、副リーダートレーナー	年間1回
12	国際環境	国際活動研究	継	スカウト、指導者、保護者	年間1回
13	国際環境	海外派遣の奨励	継	スカウト、指導者	年間随時
14	コミG	セーフ・フォーム・ハーム研修	継	指導者	年間1回
15	コミG	団アンケート結果分析による活動提案と支援	継	指導者	年間随時
16	コミG	コミッショナー研究集会	充	コミグループ（地区、県連盟全員）	伝達事項、事例研究
17	コミG	スカウティング研究資料の作成	継	トレーニングチームプロジェクトチーム	冊子の作成
18	コミG	コミッショナー研修所への参加奨励	継	実修所終了者及び、コミグループ	実修所入所者の支援

② スカウトに教育効果のある大会の開催及び派遣事業

No.	担当部局	R03(2021)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	ボーイスカウト栃木県大会	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間1回
2	指導者養成	スカウトスキル出前講座	継	公民館等の行政機関等、県民	年間2回
3	プログラム	スカウト顕彰&情報提供	継	スカウト、学校	年間随時
4	プログラム	地区スカウト大会（ラリー等）開催支援	継	スカウト、指導者、保護者、県民	10,000円×4地区
5	プログラム	環境プロジェクト活動の推進	充	スカウト、指導者、県民	年間随時
6	プログラム	カブラリー	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間1回
7	プログラム	県ベンチャースカウト大会	継	ベンチャースカウト、指導者	年間1回
8	プログラム	ローバーズネットワーク推進	充	ローバースカウト	年間随時
9	プログラム	第19回栃木県キャンポリー	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間1回
10	プログラム	ボーイスカウト救急法講習会	継	スカウト、指導者	年間1回
11	国際環境	足尾の山に緑を（植樹）	継	スカウト、指導者、保護者	年間1回

③ ボーイスカウト運動の普及及び広報事業

ア 広報活動の展開

No.	担当部局	R02(2020)単年度事業	R02 (2020) 区分	対象	内容等
1	組織広報	防災キャラバンによる広報	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
2	組織広報	ホームページの運営	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
3	組織広報	広報誌「男体」ホームページ版の運営	充	県民	年間随時、ホームページ版
4	組織広報	取材記事の収集保存	継	新聞社、テレビ局等のマスコミ	年間随時
5	組織広報	広報用パンフレット等作成	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
6	組織広報	広報グッズの作成	充	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
7	組織広報	県社会教育振興協議会等行政との連携	継	指導者	年間随時
8	プログラム	技能章考查員・指導員の拡充	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
9	国際環境	キャンプ場PR誌作成	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
10	国際環境	国際交流連携	充	スカウト、指導者	年間随時
11	コミG	新入隊員保護者アンケート	継	新入隊員保護者	年間1回

イ 野外ゲーム等ボーイスカウト運動の体験の場の提供

No.	担当部局	R02(2020)単年度事業	R02 (2020) 区分	対象	内容等
1	組織広報	地区組織拡張支援	継	スカウト、指導者、保護者、県民	20,000円以内×4地区
2	指導者養成	防災プログラム事例集の研究	継	指導者	年間随時
3	指導者養成	自然体験活動指導者 (CONE) の派遣	新	学校、公民館等の行政諸機関、各種団体	年間随時

④ キャンプ場の貸与及び管理

ア 栃木県連盟野営場 C. C. C (CAMP CAT CROW) の貸与及び管理

No.	担当部局	R02(2020)単年度事業	R02 (2020) 区分	対象	内容等
1	国際環境	野営場の貸与及び管理	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時

ボーイスカウト運動の特色の一つである「野外活動」を展開する場所を確保するために、本連盟が保有するキャンプ場を本連盟の団や隊、青少年の健全育成に携わる団体に青少年の健全育成の目的に限り有料にて貸与する。

- 対象者： 本連盟の団・隊及び青少年の健全育成に携わる団体
- 使用料
 - (1) 宿泊料 1人1泊 会員 500円、非会員 1,000円
 - (2) 入場料 1人昼間 (10:00～16:00) 会員 100円、非会員 200円
- 周知方法： ホームページ、広報誌、チラシ (500部程度作成、各団、近隣地域などに配布)

公益法人を運営する上で必要な会議

ア 公益法人を運営するため、以下の各種会議を開催する。

- 評議員会、理事会、三役会議、運営委員長連絡会議、各種運営委員会議、県連盟コミッショナーハウス会議、特別委員会(中期経営計画、規程検討、県連盟75周年記念誌作成、クラウド等を活用した文書等管理推進等)

公益法人を経営する上で必要な財務財政に関する事業

No.	担当部局	R02(2020)単年度事業	R02 (2020) 区分	対象	内容等
1	財務財政	収益構造の改善	継	県連盟役員	年間随時
2	財務財政	寄附金募集	継	加盟員及び関係者、一般	年間随時
3	財務財政	法人会計処理事務の充実	継	県連盟役員	年間随時
4	財務財政	公益法人セミナーへの派遣	継	県連盟役員	年間随時

(2) 収益事業

収1 ボーイスカウト運動に必要な用品の取りまとめ及び発注事務などの計画

① ボーイスカウト運動に必要な用品の取りまとめ及び発注事務などに関する手数料収益

- ア 県内各団からボーイスカウト運動に必要なスカウト用品（制服・記章・本・テント他）の必要数を取りまとめ、一般財団法人ボーイスカウトエンタープライズに発注する事務を、本連盟事務局が一括して行う。
- イ 年間の用品等総売上金に対して、20%程度の金額がボーイスカウトエンタープライズから、本連盟へ手数料として入金される。
- ウ ボーイスカウト運動に必要なスカウト用品（制服・記章・本・テント他）は、BSカード（オリエントコーポレーションカード）を利用して個人が購入することができる。BSカードの売上高の0.5%が本連盟に手数料として入金される。
- エ 啓発グッズ等の販売益もここに計上する。

令和3(2021)年度 指導者研修・講習会一覧

組:組織広報委員会 指:指導者養成委員会 プ:プログラム委員会 国:国際環境委員会 財:財務材委員会 コ:コミッショナー関係

事業名 分類・担当委員会	目的・内容	対象	実施回数 時期・期間	定員	選定方法	周知方法	参加料(一人あたり) その他
ボイスカウト 講習会開催	18歳以上の者が団及び隊指導者になるための導入定型訓練としてボイスカウトの原理や隊集会の開催方法等を講義や実施体験等により体験してもらう。	18歳以上の県民	年4回 県内4会場 各回1日	各回 25名	各回先着順	ホームページに掲載するほか、各団及び公民館等に実施要項を配布	各回 1人2,500円
公1・指							
ウッドバッジ 研修所開催	●ウッドバッジ研修所スカウトコース栃木第3期 ●ウッドバッジ研修所課程別研修 ビーバー課程、ベンチャーコース 年齢別の隊(ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャーアー)の隊長となるために必要なプログラムの立案・展開方法などを3泊4日の日程で修得する。スカウトコース(基本型)と課程部門別コース(ビーバー・ベンチャーコース)を開催する。	19歳以上の県民 でボイスカウト 講習会修了者	スカウトコース 9月 3泊4日 課程別研修 10月、11月 各1日	30名 30名	先着順 先着順	ホームページに掲載するほか、関東ブロックの各県連盟及び各団にも実施要項を配布	スカウトコース(基本型) 1人20,000円 課程別研修 1人2,500円
公1・指							
ウッドバッジ研修所 講師派遣	他県と合同で開催するウッドバッジ研修所に対して、研修所の運営支援及びトレーナー育成を目的として、講師を派遣する。 団委員及びコミッショナーの各研修所	トレーニングチー ム員	年2回	各回 若干名	コミッショ ナーの推 薦	対象となる指導者に実施要項を配布。	(支出) 5,000円
公1・指							
ウッドバッジ実修所 講師派遣	日本連盟が開催するウッドバッジ実修所に対して、実修所の運営支援及びトレーナー育成を目的として、講師を派遣する。	リーダートレーナー、副 リーダートレーナー	年6回	若干名	コミッショ ナーの推 薦	対象となる指導者に実施要項を配布。	(支出) 5,000円×6コース
公1・指							
トレーニングチーム 研究集会	ボイスカウト講習会・ウッドバッジ研修所・定型外研修のスタッフとして、奉仕をするために全国的な教育内容、指導者としての問題や課題を持ち寄り研究する。	トレーニングチー ム員	年2回 1日1回 1泊2日1回	全対象者	全対象者	対象となる指導者に実施要項を配布。	1人3,000円
公1・指							
定型外訓練研修 開催	●県定型外訓練①スキルトレーニング ボーイ、ベンチャースカウトに高度な野外活動を提供するため、指導者自ら技術・技能を習得する。	18歳以上の県民	年2回	20名	先着順	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項を配布する	1人1,000円

	● 県定型外訓練②県(野外炊事等) コミッショナーの指導方針のもと、指導者に必要な技術・技能、指導者から求められている技術・技能について、トレーニングチームの研究に基づき研修会を開催する。	18歳以上の県民	年2回	20名	先着順	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項	1人 1,000円
	● 県定型外訓練③自主サークル育成 自主的に研修を企画・実施するサークルに対し、活動支援を行う。	18歳以上の県民	年間随時	希望者	申請	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項を配布する	(支出) 5,000円以内×2サークル
	● 地区定型外訓練開催支援 野外におけるプログラム充実のために必要な知識や技能を修得するために、地区組織が開催する研修会を支援する。	18歳以上の県民	年4回 県内4会場	希望者	全参加希望者	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項を配布する	(支出) 1万円以内×4地区
	● 団・隊指導者研修会 会員への有益な情報提供の場とし、会員同士の親交を深める場も設ける。	団委員、隊指導者等	年1回 1月	希望者	全参加希望者	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項を配布する	1人 1,000円
	● 国際活動研究 国際交流協会と連携し、国際理解を深める。	スカウト 団委員、隊指導者等	年間随時	50名	全参加希望者	日程を決めて、各団あてに案内を出す	
	● セーフ・フロム・ハームセミナー 指導者を対象に登録前セミナーを開設し、本運動における「思いやりを育む教育」を理解し、活動の質を高めていく。	隊指導者、団委員、ローバースカウト	2月	希望者	全参加希望者	ホームページに掲載するほか、各団にも実施要項を配布する	
	公1・ <input checked="" type="checkbox"/> ほか	県連盟コミッショナーが主宰し、県内全コミッショナーの資質向上を目的とした研修を行う。	県・地区の正副コミッショナー	年2回	全対象者	全対象者	(支出) 対象となる指導者に実施要項を配布。 資料・飲み物代 2,000円
コミッショナー 研究集会	公1・ <input checked="" type="checkbox"/>	県連盟コミッショナーが主宰し、県内の指導者養成やプログラム充実のための現状把握と課題解決のための協議を行う。	県正副、地区コミッショナー	年2回	全対象者	全対象者	対象となる指導者に実施要項を配布。
コミッショナー 合同研修	公1・ <input checked="" type="checkbox"/>	日本連盟が開催するトレーナー研究集会に対して、トレーナーの資質向上のために県連盟を代表して派遣する。	リーダートレーナー、副リーダートレーナー	日本連盟の実施計画に準ずる	全対象者	全対象者	対象となる指導者に実施要項を配布。 (支出) 2,000円×9名
トレーナー 研究集会派遣	公1・ <input checked="" type="checkbox"/>						

令和3(2021)年度 大会等開催及び派遣事業一覧

組:組織広報委員会 指:指導者養成委員会 プ:プログラム委員会 国:国際環境委員会 財:財務材委員会 曜:コミッショナー関係

事業名 分類・担当委員会	目的・内容	対象	実施回数 時期・期間	定員	選定方法	周知方法	参加料(一人当たり) その他
ボーイスカウト 栃木県大会 公1・組	県内一般青少年・保護者・各団スカウト・指導者が一堂に会し、ボーイスカウト活動の成果を披露し、ボーイスカウト運動の楽しさを知つてもらうため、ボーイスカウト活動の展示、テーマ別集会を設け、体験参加ができる機会とする。	スカウト・保護者・指導者・一般県民	年1回 6月	400人	先着順	各団及び関係機関に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	無料
地区組織 拡張支援 公1・組	県内4地区で、ボーイスカウト運動の未組織の市や町に出向き、近隣の幼児・小学生に野外ゲームを楽しんでもらう場を設け、ボーイスカウト運動への参加を促す。	県内児童、保護者、スカウト、指導者	年4回	希望者	先着順	各団及び関係機関に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	(支出) 2万円以内×4地区
第19回栃木県 キャンボリー大会 公1・フ	県内のスカウト・指導者が一同じに集い、キャンプ生活を通してスカウト仲間としての心のふれあいと共通体験の中から、社会に貢献する青少年の育成を目的とする。	県内ボーイスカウト・ベンチャースカウト・指導者・一般県民	4年に1回 8月 3泊4日	200人	先着順	各団及び関係機関に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	スカウト・指導者 1人 12,000円 一般・保護者 無料
カブラリー 公1・フ	仲間意識を持ち、異年齢集団に所属する楽しさを味わい野外での活動に親しむために、幼児や小学生、ビーバースカウト・カブスカウトがルールに従って楽しくゲームをする。	カブスカウト・ビーバースカウト・一般幼児・児童、保護者、指導者	年1回 10月 1日間	400人	先着順	各団及び関係機関に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	スカウト・指導者 1人 500円 1隊 3,000円 一般・保護者 1人 100円
ボーイスカウト 救急法講習会 公1・フ	技能章「救急章」の取得支援を行うため、県連盟が「ボーイスカウト救急章講習会」を開催する。	県内ボーイ・ベンチャーローバースカウト	年1回	20人	先着順	各団に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	1人 5,000円
県ベンチャースカウト大会 公1・フ	県内のベンチャースカウトが技能章を取得するに当たり、各団のベンチャーチーム長と協力し合い、より多くの考查が受けられるよう指導員により指導を行う。	県内ベンチャースカウト	年1回 3月 1泊2日	20人	先着順	各団及びベンチャーチーム長へ実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	1人 3,000円
地区スカウト大会(ラリ ー等)開催支援 公1・フ	県内各地区でスカウト並びに一般向けのスカウトプログラム事業を実施する。	県内児童、保護者、スカウト、指導者	年4回	希望者	先着順	各団及び関係機関に実施要項を配布するほか、ホームページにも掲載	(支出) 1万円以内×4地区
足尾の山に緑を (植樹) 公1・国	日光市足尾地区で開催される春の植樹デーに参加し、環境へ働きかける意識と態度を養う。	スカウト、指導者、保護者	4月	希望者	希望者	日程を決めて、各団あてに案内を出す	参加費無料 (支出) 参加者への飲み物 1万円

令和3年度 行事計画

組:組織広報委員会 指:指導者養成委員会 プ:プログラム委員会 国:国際環境委員会 財:財務財政委員会

派遣:指導者派遣事業

ホームページ運営:通年

臨時理事会・臨時評議員会随時開催

	日	行 事 名 等	担当委員会	会 議 名 等	
4 月	18(日) 25(日)	ボイスカウト講習会(西部地区) 指 県連盟野営場整備 国 足尾・春の植樹デー	3(土) 17(土) 24(土)	運営委員長連絡会議 定例監査会 理事会	
5 月			23(日) 29(土) ~30(日)	定時評議員会 (決算) 2021年度「全国大会」(静岡県) 全国県連盟代表者会議 全国コミッショナーハウス会議 全国ローバース会議	ワクワク自然体験あそび 通年
6 月	5日(土) 20(日) 27(日)	トレーニングチーム研究集会 ボイスカウト講習会(南部地区) 指 県連盟野営場整備 国 栃木県大会 組	5(土)	運営委員会合同会議 県連盟コミッショナーハウス会議 富士章面接	
7 月		県連盟野営場整備 国	3(日) 10(土) 31(土)	理事会 コミッショナーハウス研究集会 関東ブロック会議(茨城) 運営委員長連絡会議	
8 月	5(木) ~8(日) 29(日)	第19回栃木県キャンポリー プ (日本連盟那須野営場) 県連盟野営場整備 国 定形外訓練「web研修」			
9 月	4(土) 23(木・祝)~ 26(日) 20(月・祝)	県連盟野営場整備 国 WB研修所スカウトコース栃木第3期 スカウトの日	4(土)	理事会	

10 月	17(日)	全国防災キャラバン(佐野市) 第50回栃木県カブラリー	2(土)	運営委員長連絡会議、富士章面接 コミッショナー研究集会	ワクワク自然体験あそび 通年
	31(日)	県連盟野営場整備 国 WB研修所課程別研修第3回(BVS) 指 ふれあいフェスティバル(コンセーレ)	15(金) ~ 17(日)	全国県連盟コミッショナー会議(東京)	
11 月	7(日)	定型外訓練「救急法」	6(土)	中間監査会	ワクワク自然体験あそび 通年
	14(日)	ボイスカウト講習会(北部地区) 指 とちぎ教育の日振興大会	6(土) ~7(日)	理事会 全国組織拡充担当者会議(東京)	
	20(土) 21(日)	ボイスカウト救急法講習会 プ	13(土) ~ 14(日)	全国事務局長会議(東京)	
	28(日)	WB研修所課程別研修第3回(VS) 指			
12 月	12(日)	定形外訓練「野営法」	4(土)	運営委員長連絡会議	ワクワク自然体験あそび 通年
			4(土) ~5(日)	コミッショナー研究集会 全国ディレクター研究集会(東京)	
			11日(土)	関東ブロック会議(茨城)	
1 月	8(土) ~9(日)	団・隊指導者研修会・親睦会 組	9(日)	理事会	ワクワク自然体験あそび 通年
			15(土) ~16(日)	全国県連盟コミッショナー会議(東京)	
			29(土)	全国代表者会議(東京)	
2 月	13(日)	セーフ・フロム・ホームセミナー 指 ボイスカウト講習会(東部地区) 指 県トレーニングチーム研究集会 指	5(土)	運営委員長連絡会議、富士章面接 県連盟コミッショナー会議	ワクワク自然体験あそび 通年
			26(土)	理事会 名誉会議	
3 月		県連盟野営場施設点検 国 県ベンチャード大会 プ	5(土) 12(土) 13(日)	県連盟登録審査会 関東ブロック会議(茨城)	ワクワク自然体験あそび 通年
			13(日)	臨時評議員会	